



2022.10.26 NO.21
保育室 すまいる

<月のテーマ：とりくむ>

年齢別 月の保育のねらい

<2歳児>

- 様々な活動を通し、表現することを楽しむ。
- 遊びや生活の中で、順番や決まりを守ろうとする。

<4歳児>

- 友だちと共通の目標に向かって協力し合う楽しさを味わう。
- 友だちと思いきり体を動かす心地よさや表現する喜びを味わう。

<5歳児>

- 大胆な遊びに挑戦し、感受性を豊かにしていく。
- 友だちとのつながりを深め、様々な活動に意欲的に取り組む。

<学童>

- 友だちとのつながりを感じながら、仲間意識を深め、積み重ねてきたことを十分に発揮し、達成感を味わう。



<本物に触れる ①> ～10月1日(土)～2日(日)



『どろろんさいの修行に行こう!』本当に良いお天気に恵まれ、しっかりと本物に触れてきました。スタートは、ニジマス掴みでした。川がせき止めてあったので、川の水はぬるかったです。しばらく、水になじんでから、ニジマス掴みにチャレンジしました。

「そこにいるよ!」「ばちゃばちゃしないで、ニジマスが見えなくなるよ」「石の方にニジマスを行かせよう!」「こっちからいくから、そっちから来て!」ニジマスつかみを体験したことで、どうやってニジマスをつまめることができるか、みんなで知恵を出し合って、工夫してチャレンジしました。

ニジマスが一番最初にキャッチしたのはMくん。さすがです。負けてはいられないと、みんなが必至になりました。Mくんがニジマスをつまめたことはみんなにとってとても良い刺激でした。ニジマス・・・魚が怖くてつかめないと言っていたK.Nくん、K.Aくん、Mちゃん、Aちゃん。「バケツに入っているニジマスをつかんでみたら?」と提案があり、Kくんは直ぐにチャレンジしました。ニジマスが動くたびに「うわあっ!」「うわあっ!」と叫んでいるうちにつかめたんです。一回つかめれば、怖さがへり、何回もチャレンジ!!川にいるニジマスにもチャレンジしました。その様子を見て、MちゃんもAちゃんもバケツから練習し、ニジマスをつかめるようになりました。人との信頼関係も大切でした。Aちゃんはモニカ先生と英語で会話のできたので自分の気持ちを伝えられ、モニカ先生が受け止めてくれたので、スムーズだったのだと思います。そして、友だちとの信頼関係ですね。

炭で焼いたニジマスは最高!!魚を見ただけで「食べない」と言っていたK.Aくんでしたが、身をほぐして、「食べてごらん」と渡すと、みんながおいしいと言って食べているので、違和感なく食べられたようで、「ニジマス、おいしいでしょ?」と尋ねると「うん、おいしかった」と得意な顔をして、全部食べました。13人全員完食しました。「ニジマス、ふわふわしておいしかった!!」「もっと食べたかった・・・」という感想もありました。

食する前に子どもたちに伝えたこと「ニジマスは、みんなに食べてもらうために、命を私たちにくれました。だから、命をいただきます。という意味で、『いただきます』をして食べましょう。そして、命をくれたニジマスのためにきれいに食べましょう」ということでした。食、全てのことに繋がります。

食物連鎖の話も出てきました。

